



百文祭のアンバサダー・野村萬斎さんのパネルも登場。

ふるたず 故きを温ねて新しきを知る

第7回国民文化祭・石川 92 懐古展

1992（平成4）年に県内で開催された「第7回国民文化祭」の懐古展が、市役所で6月30日（金）から7月6日（木）まで実施されました。当時の様子が分かる記録映像や書籍に加え、第7回国民文化祭のマスコットキャラクター「文化ちゃん」の人形やのぼり旗が並びました。この展示は、今秋の「いしかわ百万石文化祭 2023」に向けた機運を醸成するために、大会旗の巡回展示に合わせて企画したものです。担当者は「歴史ある祭典を通じて、郷土の文化の多様さを知ってほしい」と話しました。

星のように輝く笑顔が溢れました セタフェスティバル

7月1日（土）、にぎわいの里ののいち カミーンで「セタフェスティバル」が開催されました。セタステージ、折り紙、おはなし会などのコーナーが用意され、多くの来場者でにぎわいました。特に、菅原学童ジャグリングチームのパフォーマンスには、席が足りなくなるほどの観客が集まり、華麗な技に何度も拍手が送られました。また、小学生から高校生までが所属する「ボランティア探検隊飛鳥」が担当した縁日では、訪れた子どもたちが会員の説明を聞きながら、輪投げやスーパーボールすくいを楽しみました。



温かく接客する飛鳥の会員と、千本くじを楽しむ来場者。



市長も出席し「SDGs未来都市」に選ばれたことなどを紹介しました。

「創立 30 周年記念の集い」の開催決定！ 東京野々市会総会

石川県アンテナショップ「いしかわ百万石物語・江戸本店」（東京都）で、東京野々市会総会が7月1日（土）に行われました。また、感染症の影響で3度の延期となっていた「東京野々市会創立 30 周年記念の集い」を11月13日（月）に開催することが総会で決定しました。記念の集いでは、会員同士の交流や、市出身のサクソ奏者・作田聖美さんによる演奏が行われる予定です。総会後には、野々市駅ができた当時の話や、市内に完成した各種大型店舗の話などで盛り上がりしました。

自分と社会を守る消費者に 消費者教育授業（野々市明倫高等学校）

令和4年4月1日に成年年齢が18歳に引き下げられました。成年になると、さまざまな契約が保護者の許可なくできるようになります。このことを自覚し、賢い消費者を目指してもらいたいという思いから、野々市明倫高校3年生に向けた消費者教育授業が7月14日（金）に行われました。ネット販売や美容に関するトラブルなど、社会経験が十分でない若者が陥りやすい事例をあげ、被害者・加害者にならないためのポイントや、トラブルに遭った際の相談先が紹介されました。



講師の青海万里子氏からの質問にハンドサインで答える生徒。

まちの話題 Focus

皆さんの周りの楽しい話題やイベントなどの情報を教えてください。
市民協働課 ☎ 227-6056

サッカーをもっと好きになる ツエーゲンがやってくる in 野々市市

6月24日（土）、市民体育館にて「ツエーゲンがやってくる in 野々市市」が開催されました。このイベントは、ツエーゲン金沢の選手たちが、子どもたちと交流することを目的に、今年から実施しているものです。この日は、ディフェンダーの櫻井風我選手とパクジュンソ選手の2人が参加。チームスタッフとともに、市内在住の小学生とパス練習やミニゲームなどを通じふれあいました。プロの選手と一緒に練習をし、その技術を間近に体感した子どもたちは、技術的な成長はもちろん、何よりもサッカーに対する情熱をますます高めたようでした。

①サインに応じる櫻井選手②プロフェッショナルの動作は、一つ一つが奇麗で、子どもたちも食い入るように見ていました③遊びを取り入れた準備運動では、みんな笑顔に④パク選手をみんなで囲みますが、なかなかボールを奪えませんが⑤ミニゲームは子どもたちの勝利でした。やったー！



春の庭にあふれる生命の輝き

『はるのにわで』展

野々市出身のアニメーション映画監督・米林宏昌氏が作画を担当した絵本『はるのにわで』の複製パネル展が、学びの杜ののいち カレードで5月19日（金）から6月18日（日）まで開催されました。昆虫や自然のテーマを得意とする絵本作家・澤口たまみ氏の文章と、春の庭で暮らすさまざまな生きものをみずみずしく描いた米林氏の絵が調和したこの絵本。来場者らは、パネル一枚一枚をじっくりと眺め、絵本が描き出す「はるのにわ」の世界に浸っていました。



直筆の色紙や設定資料、関連図書なども併せて展示されました。

童話の魅力を再発見！ ぬいぐるみミュージカル

6月19日（月）、劇団銀河鉄道ファミリーミュージカルが4年ぶりに文化会館フォルテで開催され、約200人が童話の世界を楽しみました。今回は、グリム童話『あかずきん』とアンデルセン童話『みにくいあひるのこ』の2本立てです。0歳から入場可のため、ホールでの観劇が初めてという親子も。ミュージカルが始まると、客席では指をさしたり笑ったり、舞台に向かって「逃げてー！」と声を上げたり、繰り広げられる会話やダンスに子どもも大人も目を輝かせていました。



コミカルなやり取りや楽しい音楽が披露されました。